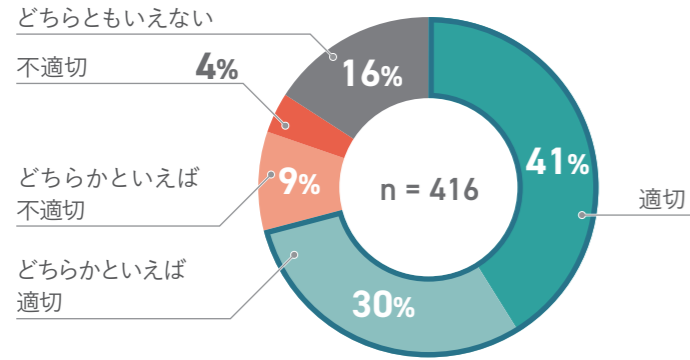


Q2-6 建築物の外観・色彩

建物の大きさに関係なく、外観の色彩をまちなみに配慮するように定めることについて



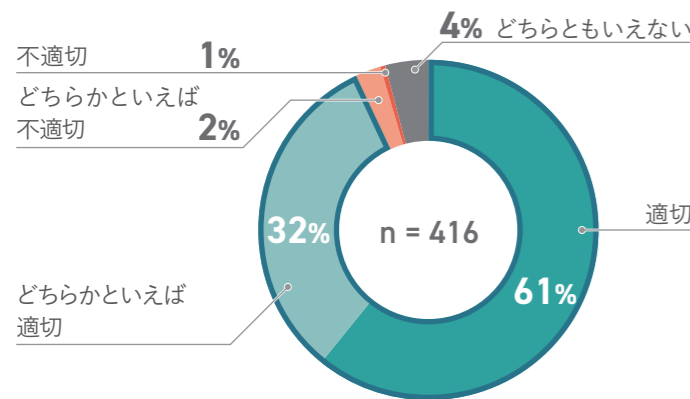
「適切」「どちらかといえば適切」が約7割でした。

主なご意見

- 好みはあるものの、あまり奇抜なものはどうかと思う
- 優れたデザインの建物であれば多少目立っても良いのでは

Q3 新たな防火規制

「新たな防火規制」（燃えにくい建物を増やすルール）の導入について

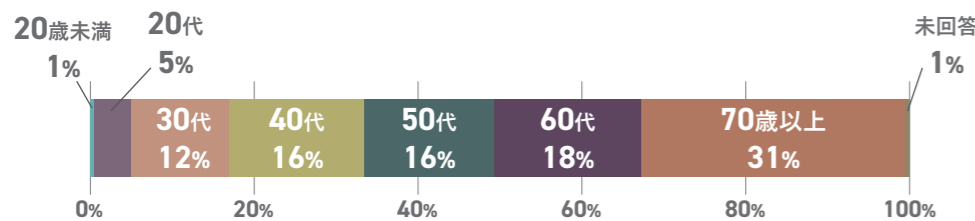


「適切」「どちらかといえば適切」が9割超で、多くの方にご賛同いただきました。

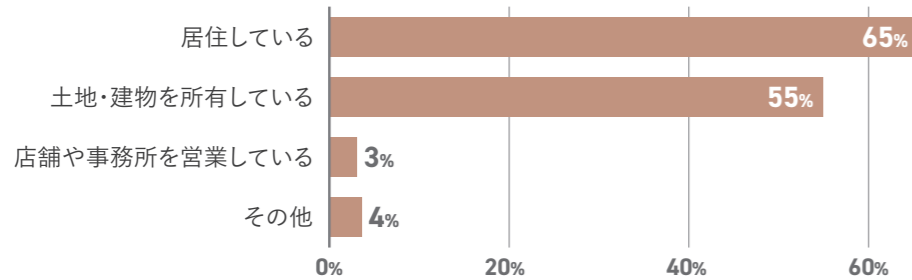
主なご意見

- 不燃化など、防火・延焼対策は大変重要だと思う
- 耐火性能の高い建物を増やすのは効果的だと思う

Q4-1 ご回答いただいた方の年齢



Q4-2 ご回答いただいた方の地区との関係



お問合せ先

練馬区 都市整備部
防災まちづくり課 貫井・富士見台地区担当

〒176-8501 練馬区豊玉北六丁目12番1号

☎ 03-5984-1429 (直通)

FAX 03-5984-1225 ☒ BOUMACHI03@city.nerima.tokyo.jp

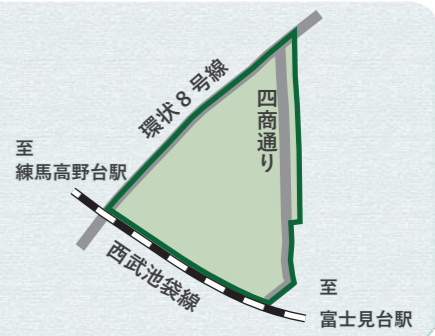
ボウマチゼロサン

貫井・富士見台地区のまちづくりについては、区のホームページでも紹介しています！

貫井・富士見台地区 🔍 検索

富士見台三・四丁目環八南地区 まちづくり通信

特別号
2
2022.3



日頃より、練馬区のまちづくりにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
現在、「富士見台三・四丁目環八南地区」では、安全・安心で住みよいまちの実現に向け、「地区計画」と「新たな防火規制」の導入を検討しています。

本号では、地域の皆様のご意見を伺うために昨年11月に実施したアンケート調査の結果をお知らせします。ご回答いただいた皆様、ありがとうございました。今回のアンケート結果等を踏まえて、今後、まちづくり計画の案を作成していきます。

アンケート調査 実施概要

回答期間 令和3年11月1日～11月30日

対象者 富士見台三・四丁目環八南地区内にお住まいの方および土地・建物を所有されている方

回答方法 郵送またはWebによる回答

配布数 1,903部

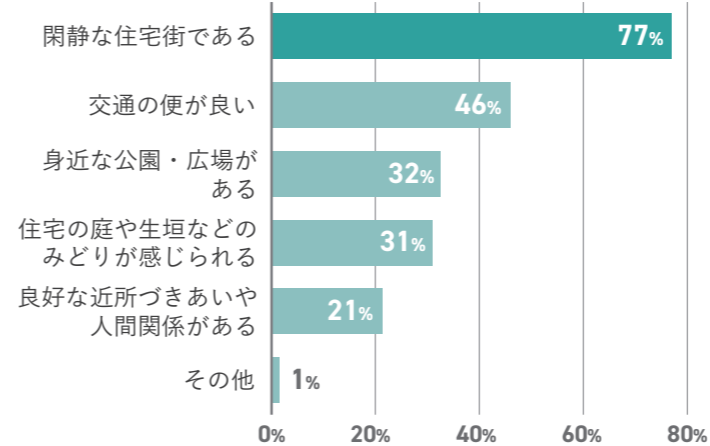
回答数 416部 (回収率:21.9%)



アンケート調査結果

Q1-1 このまちの良いところ

※複数回答

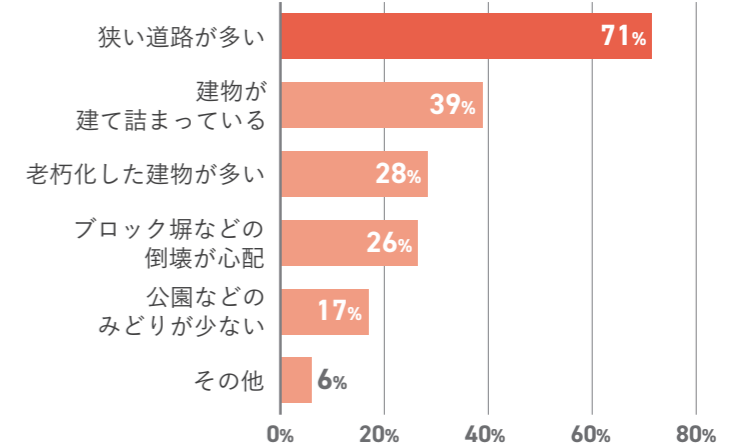


主なご意見

- 東京23区の中では、みどりが多く暮らしやすい
- 静かで良いまち

Q1-2 このまちの課題

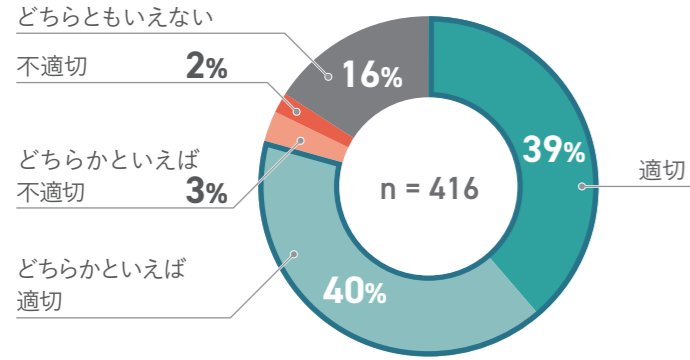
※複数回答



主なご意見

- 防災や緑化などは本当に重要な課題だと思うので、時間をかけてでも丁寧に進めていくべきだと思うが、狭い道路が多いことについては、車の通行の不自由さや歩行者に対する危険など、日常に密接に関わることなので、どちらかといえば優先して取り組んでほしい

Q1-3 検討会で定めたまちづくりの目標について



まちづくりの目標

- 1 災害に強く、歩きやすい安心・安全なまち
- 2 静かで暮らしやすく、住み続けたいまち
- 3 みどりが感じられる、明るいまち

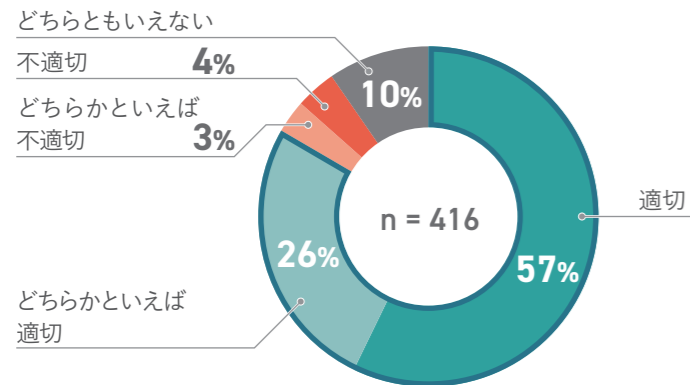
「適切」「どちらかといえば適切」を合わせて約8割の方から賛成のご意向をいただきました。主なご意見として、防災対策としてのまちづくりを求める声を多数いただいています。

主なご意見

- 今の子どもたちが大人になったとき、少しでも安全で住みよいまちになってほしい
- 住民は高齢化しており、今後安心して住めるようなまちづくりを希望する
- まちづくりの目標は賛同できるが、自分の年齢を考えると、金銭的(建替え等)・体力的(緑化等)に不安がある

Q2-1-1 地区施設 (道路)

主要生活道路を幅員6mに拡幅するように定めることについて



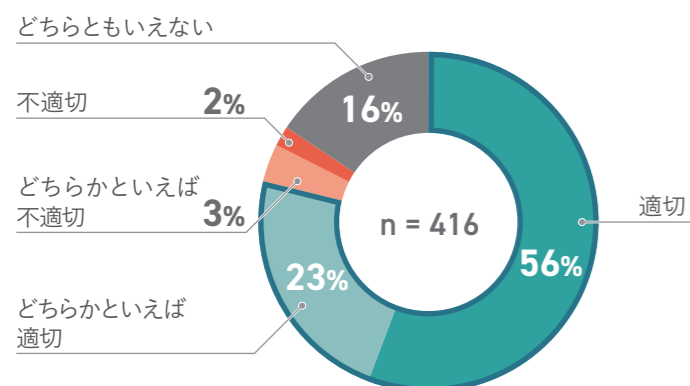
8割超の方から賛成のご意向をいただきました。

主なご意見

- 大きな地震に備えて、消防車の入れる道路を早急に整備してほしい
- 静かな住宅街なので、交通量が増えると不安

Q2-1-2 地区施設 (公園)

地区内に公園を整備することについて



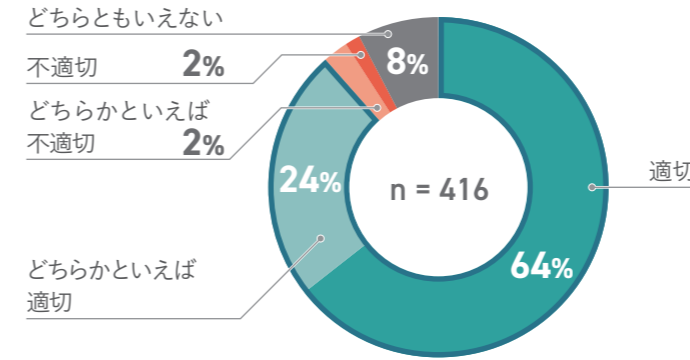
「適切」「どちらかといえば適切」が約8割であり、前向きなご意見を多数いただきました。

主なご意見

- 中からも外からも見通しが良い、中規模の公園を増やしてほしい
- 小さな子どもがいるので、公園の不足は肌で感じる機会が多い

Q2-2 ブロック塀・フェンス・生垣

道路に面して新たに塀を作る場合はフェンスまたは生垣とし、ブロック塀を設置する場合は高さを低く制限することについて



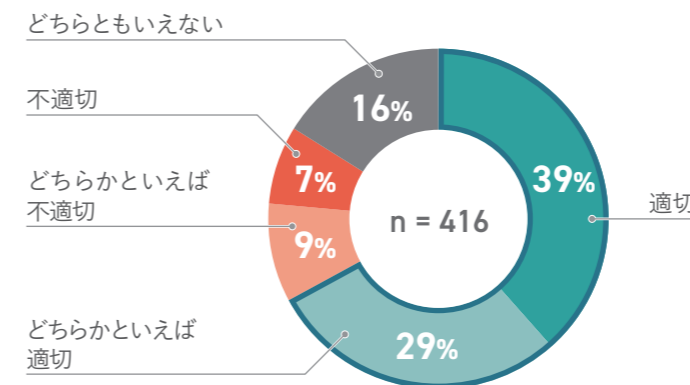
「適切」「どちらかといえば適切」が9割弱であり、危険なブロック塀に対する早急な対応を望むご意見を多数いただきました。

主なご意見

- ブロック塀の高さ制限を低く定めてほしい
- 生垣は、道路にはみ出さないよう規制するべき

Q2-3 みどり

敷地内の緑化を必須とすることについて (維持・管理は所有者ご自身で行っていただきます)



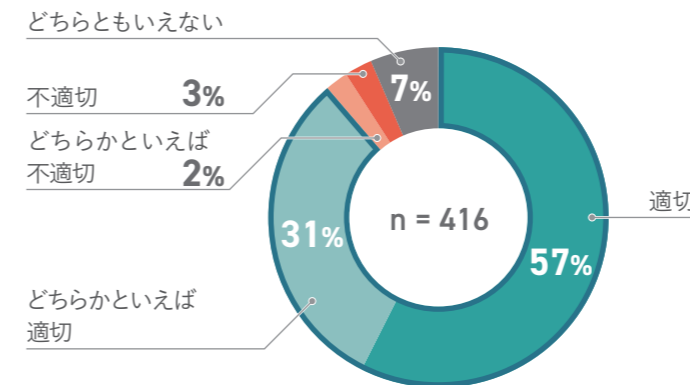
「適切」「どちらかといえば適切」が7割弱である一方、慎重なご意見もいただきました。

主なご意見

- 緑化には賛成だが、落ち葉や雑草などの維持管理の負担が大きい
- 面積が小さい敷地では、緑化をすることが難しい場合があるのでは

Q2-4 隣地境界と建築物の距離

隣地境界と建築物の間に、一定以上の距離を空けるよう定めることについて



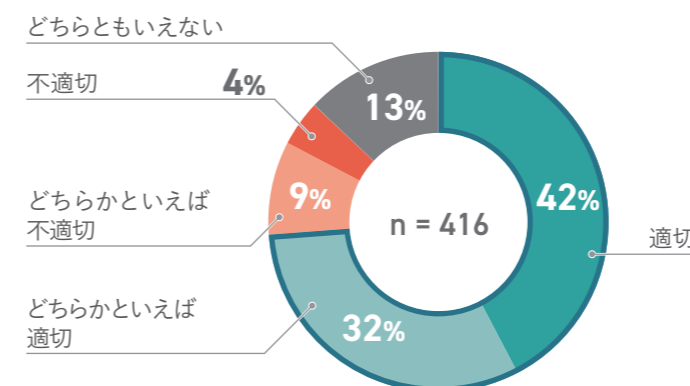
「適切」「どちらかといえば適切」が9割弱でした。

主なご意見

- 隣の家との間隔が狭く、地域が密集しつつあると感じている
- 家同士の間隔が狭いと、プライバシーも課題だが、一番の気掛かりは火災である

Q2-5 敷地面積の最低限度

敷地の細分化を防止するため、現在以上に厳しいルールを定めることについて



「適切」「どちらかといえば適切」が7割超でした。

主なご意見

- 狭小住宅の増加が目につくため、規制強化は必要
- 敷地の細分化が進んでいるので、早急に歯止めの対策をとってほしい